

令和5年12月11日
大阪公立大学医学部附属病院

肺がん疑いの所見に対して対応が遅れた事例について

当院において、CT検査の結果に記載された肺がん疑いの所見に対して対応が遅れた事例が発生しましたことをご報告申し上げます。この事例におきまして、速やかに医療安全に関する会議を開催し検討を行いました。その結果、CT検査を依頼した医師は検査結果を複数名で確認すること、CT検査の結果を作成する医師は「精査すべき」検査所見には、注意喚起の目印をつけることで、再発防止に取り組んでおります。

患者さん、ご家族の方をはじめ関係者の皆様には、今回このような事態を招いたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後の再発防止に努めて参ります。